



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

Jonathan L. Katz 博士講演会のお知らせ

“What is the Place of Behavior Analysis with Neuroscience in Ascendancy?”

▪ **Jonathan L. Katz, Ph.D.**

(National Institute on Drug Abuse 心理部門主幹,
Drexel大学医学部薬理・神経科学部門長)

日時: 2014年7月7日(月) 17:30~19:30

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館G-SEC 4階セミナールーム

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

【講演内容】

Katz博士はアメリカ合衆国の国立薬物依存研究所(NIDH)の心理部門主幹として、薬物依存行動に関する神経機構の先端的研究を展開されています。本講演では、現在のテーマである薬物依存の行動薬理機構を中心に、基礎心理学である行動分析学と神経科学との融合展開についてご講演いただきます。会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

共催: 論理と感性のグローバル研究センター、三田哲学会

問い合わせ: 伊澤栄一 文学部・心理学専攻 e-mail: izawa@psy.flet.keio.ac.jp